独、洪水被害に520億円支援

ドイツ政府は21日、170人以上の犠牲者を出した西部の大雨洪水被害に対し、4億㌦（約520億円）の緊急支援策を閣議で決定しました。連邦政府が半額の2億㌦を負担、残りは16の州政府が負担します。（片岡正明）

被害を受けたのはラインラント・プファルツ、ノルトライン・ウエストファーレン両州など。緊急支援策には、洪水で破壊された道路・橋の再建、水につかった建物などの片づけに対する人員派遣のほか、被害を受けた農家・個人商店や企業の倒産を防ぐための援助金、被災者への直接援助も盛り込まれています。

また、洪水の被害が数十億㌦とも見積もられることから、緊急支援策後の援助を進めるために、10億㌦規模の復興基金を設立。連邦政府と各州政府間で、今回のような極端な自然災害への防御システムの構築についても話し合います。

閣議後、記者会見したショルツ財務相兼副首相は「今回の洪水は気候変動の結果としてはなかった」と強調し、「個人個人に被害の重荷を背負わせるべきではない」と表明しました。

ゼーホーファー内務・建設相は「援助資金は、いちいち被災証明を要求せず、官僚主義的でなく支給する」と言明。資金は十分にあるとし「全財産を失った人々への支援だ。人々はこんな時のために税金を払っている」と語りました。

今回の洪水は13日から15日にかけ、ドイツなどの欧州西部が豪雨に見舞われ、河川が氾濫。ドイツ、ベルギーなどで200人以上の死亡が確認される大災害となりました。

内相「そのための税金」

洪水被害の緊急支援策について会見するショルツ財務相（右）とゼーホーファー内務・建設相＝21日、ベルリン（ロイター）

メキシコ・ベラクルス州議会
妊娠中絶 処罰対象外へ

メキシコ南東部ベラクルス州議会は20日、人工妊娠中絶を犯罪ではないとして処罰の対象外とすることを決定しました。カトリックの影響が強い同国で、中絶を認める4番目の州となります。

州議会の声明によると、中絶の選択を認める発議は賛成25、反対13で可決されました。

妊娠12週以内であれば中絶を選択することができるようになります。首都メキシコ市（州相当）、オアハカ州、先月末に合法化を決定したばかりのイダルゴ州に続くものです。

ベラクルス州の女性団体「海の魔法使い」は、「このような日ははるかに先になるだろうと思っていただけに、この上なく喜び驚いている」とツイッターに投稿。残り28州に中絶合法化の実現を呼びかけました。

中南米では、12月にアルゼンチンが中絶を合法化しましたが、中絶を徹底して禁止している国もあります。エルサルバドルでは中絶をした女性が懲役40年の判決を受けた例もあります。

ベラクルス州では昨年、最高裁判所が中絶に対する処罰をなくす提案に反対したことから、女性の権利を擁護する活動家たちからは非難する声があがっていました。（ロイター）

性別適合治療の禁止法差し止め

米アーカンソー州

米南部アーカンソー州の連邦地裁は21日、からだと心の性が一致しないトランスジェンダーの若者に特定の治療を禁止する同州の法律の発効を差し止めました。人権団体「全米市民自由連合（ACLU）アーカンソー支部が提訴していたもの。同法は28日に発効することになっていました。

同支部のディクソン事務局長は「今回の判決は全米に、性別適合治療は命を救う治療であり、政治家にそれを奪わせないということを明確に知らしめた」と表明しました。アーカンソー州のラトレッジ司法長官は控訴すると表明しました。

同州議会は今年4月、ハチンソン知事（共和）の拒否権を覆して同法を成立させました。未成年者に特定の性別適合治療を禁止する法律が成立したのは、米国では同州が初めてです。（ロイター）

元リンゴ日報幹部起訴

香港記者協会「理解できない」

【北京＝小林拓也】香港当局は21日夜、同日朝に逮捕した香港紙の元「蘋果（ひんか）日報」（リンゴ日報）執行総編集の林文宗氏ら元幹部4人を国家安全維持法（国安法）が定める「外国勢力と結託し、国家安全に危害を加えた」罪の容疑で起訴しました。22日には初公判が開かれ、裁判官は4人の保釈要請を拒否。4人は今後、長期間にわたり勾留されることになります。

起訴されたのは、林氏のほか、前副社長の陳沛敏（ちん・はいびん）氏、元主筆の馮偉光（ふう・いこう）氏と楊清奇氏です。香港メディアによると、昨年8月以降、リンゴ日報と発行元の壱伝媒（ネクスト・デジタル）関係者計12人が逮捕され、うち7人が国安法違反容疑で起訴されました。

香港メディアによると、22日の初公判には、元リンゴ日報の記者らが傍聴に駆け付け、「がんばれ」「あきらめるな」と声援を送りました。

香港記者協会は21日に声明を発表し、「すでに停刊となったメディアの元従業員を逮捕することは驚きであり理解できない」と政府を批判。「情勢は不安定だが、メディアで働くものはそれぞれの場所を守り、励まし合って共に進もう」と呼びかけました。

中国批判絵本で5人逮捕

【香港＝時事】香港警察は22日、中国政府や香港当局を批判する内容の絵本を発行していた20代の男女5人を、「扇動的印刷物」出版の疑いで逮捕しました。子どもに対して「香港政府や司法への憎しみを喚起する」目的があったとみて、警察の国家安全維持部門が摘発しました。

絵本を発行した５人が逮捕された後、証拠物を運び出す警官たち＝22日、香港（ロイター）

香港メディアによると、5人は香港言語療法士組合のメンバー。組合では、2019年に頻発した反政府デモの経緯を民主派寄りの目線で解説した絵本など3冊を発行していました。

絵本では香港を「悪いオオカミ」に囲まれたヒツジの村に例え、英国から中国への香港返還後の情勢を風刺。親子向けの読書会も開催されていました。昨年8月に香港から台湾への密航を試み中国海警局に拘束された民主活動家ら12人について、「ヒツジ村の勇士」として紹介した絵本もありました。

女性を背負いながら大雨で冠水した道を歩く男性＝21日、河南省鄭州市（ロイター）

中国河南省豪雨 死者33人に

被災者計300万人

【北京＝小林拓也】記録的豪雨に見舞われた中国河南省では、22日正午までに33人が死亡、8人が行方不明となっています。河南省当局が発表しました。被災者は計300万人に上っています。

被害が大きかった鄭州（ていしゅう）市は、道路が冠水し、多くの鉄道が運休しました。同市は、黄河流域に位置し、日系企業も多く進出しています。習近平国家主席は21日、人命と財産の安全を最優先に対応するよう指示。新型コロナウイルスや貧困対策に力を入れるよう呼びかけました。

イランで水不足抗議

南西部でデモ、6夜連続

【ドバイ＝ロイター】イラン南西部フーゼスタン州で、水不足に抗議する人たちによるデモが20日まで6夜連続で行われ、激しさを増しています。一方、首都テヘランで反政府スローガンを唱える住民の姿をとらえた映像が21日、ソーシャルメディアや報道機関で流されました。

ソーシャルメディアに掲載された動画によると、治安部隊が催涙ガスを使ってデモ参加者を追い払おうとしました。ファルス通信によると、同州の港湾都市マーフシャフルで「暴徒」が警察官1人を射殺し、1人にけがを負わせました。

イランでは少数派のアラブ人のほとんどがフーゼスタン州に住んでおり、これまでも差別に直面してきたと訴えています。

イランでは50年ぶりの大干ばつに見舞われており、停電も起きています。トランプ前米政権による制裁で経済が疲弊する中、エネルギー部門の数千人を含む労働者や年金生活者が数カ月にわたり抗議行動を繰り広げ、政府の無策や失業、インフレに不満を訴えています。

イランの人権活動家の通信社HRANAによると、19、20両日に少なくとも31カ所で抗議行動があり、労働者や農民が参加しました。

子ども150万人、保護者失う

コロナ世界的流行の下

英医学雑誌

英医学雑誌『ランセット』は20日、新型コロナウイルスのパンデミック（世界的流行）下の14カ月間に、世界150万人の子どもが、親や祖父母、親戚など、保護者を感染で失ったとする論文を掲載しました。

親のいない子どもの数は、国連人口部や世界死者数の77％を占める21カ国のデータに基づき推定されました。

米国疾病対策センター（CDC）コロナ対策チームのスーザン・ヒリス博士は、声明で「世界でコロナの死者が2人出るごとに、1人の子どもが親や保護者を亡くしている。早急に対策を打たなければならない」と述べました。

ヒリス氏は、子どもたちを長年にわたって支援することを緊急の優先課題にしなければならないと指摘。共同研究者でオックスフォード大学のルーシー・クルーバー氏は「12秒に1人の子どもが親や保護者を亡くしている。早急に対策を打たなければならない」と述べました。

（ロイター）

未接種者パンデミック

南北米州 PAHOが警告

【ボゴタ＝ロイター】世界保健機関（WHO）の米州事務局である汎米保健機構（PAHO）は21日、南北米州諸国で新型コロナウイルスのワクチン未接種者のパンデミック（世界的流行）に直面しているとし警告しました。接種率の低い国で新規感染者数が増えており、そうした諸国へのワクチンの寄贈を改めて呼び掛けました。

PAHOのエティエンヌ事務局長は同日の定例会見で、「ワクチン未接種者のパンデミックに直面しており、それを止める唯一の手段は接種を拡大することだ。たとえ100％有効なワクチンがないとしても、ワクチンは欠かせない」と述べました。

中南米カリブ海諸国でワクチン接種を完了したのは15％に過ぎず、ホンジュラスやハイチではまだ1％にも達していないと指摘。十分なワクチンを確保している諸国に対し、必要としている諸国へ速やかに寄贈するよう訴えました。

タイ首都圏、封鎖状態

新規感染、連日1万人超

【バンコク＝時事】新型コロナウイルスが猛威を振るうタイで21日、新たに1万3002人の感染が確認されました。1日の感染者としては過去最多で、1万人を超すのは5日連続。バンコク首都圏は行動や移動の規制が強化され、ロックダウン（都市封鎖）状態となりました。

首都圏では6月末から店内飲食を禁止。今月12日には夜間外出を原則禁止したほか、商業施設の営業を停止し、規制を強めました。しかし、デルタ株が広がり、17日から新規感染者が1万人を上回っています。

政府は21日、国内線の首都圏乗り入れを禁止しました。県境には検問所が設置され、陸路での移動も厳しく制限されています。政府は公園やスポーツ施設、理髪店、図書館なども閉鎖すると発表しました。

ロシア送ガス管容認

米 独支援で姿勢転換

【ワシントン、ベルリン＝時事】米国、ドイツ両政府は21日、ロシア産天然ガスをドイツに輸送するパイプライン「ノルドストリーム2」建設について、米国が事実上完成を認める合意を発表しました。国務省高官は記者団に「われわれは、このパイプラインに反対のままだが、制裁は建設を阻止できず、ドイツやEU（欧州連合）の極めて重要な同盟関係を損なう危険があるという判断に至った」と説明しました。

米独政府の共同声明によると、米独は、2024年に期限が切れるウクライナとロシアのガス移送協定の10年延長を支持するほか、ドイツはウクライナのエネルギー安全保障支援などで少なくとも1億7500万㌦（約193億円）を拠出します。ドイツ側は、ロシアがエネルギー供給でウクライナを脅せば、制裁も含む措置を講じると約束しました。

バイデン米政権は既に、ノルドストリーム2の運営会社と経営者への制裁猶予を発表するなど方針転換を示唆していました。国務省高官は記者団に「われわれは、このパイプラインに反対のままだが、制裁は建設を阻止できず、ドイツや欧州の極めて重要な同盟関係を損なう危険があるという判断に至った」と説明しました。

フラッシュ

■タリバン「祝祭中は攻撃停止」

【ニューデリー＝時事】アフガニスタンの反政府勢力タリバンの幹部は21日、イスラム教の「イードアルアドハー（犠牲祭）」（20～22日）に際し、自主的に攻撃を停止し、「防御態勢を取るよう兵士に伝えた」と明らかにしました。

■中国が産児制限の罰金を廃止

【北京＝時事】中国政府は20日、産児制限に違反して3人以上の子どもをもうけた夫婦に対する罰金を廃止すると発表しました。5月には出産を容認する子どもの数を2人から3人に緩和する方針が示されており、これに合わせ制度を変更します。

■米が中国と北朝鮮政策論議へ

【ソウル＝時事】訪韓中のシャーマン米国務副長官は22日、文在寅（ムン・ジェイン）大統領を表敬し、「中国訪問時に、中国側とも対北朝鮮政策に関して深い論議をしようと思っている」と述べました。韓国大統領府が発表しました。文氏は「米朝対話再開のため積極的に努力してほしい」と要請しました。

■南ア暴動の死者が276人に

【ヨハネスブルク＝ロイター】南アフリカのヌチャベニ大統領府相代行は21日、同国で起きたズマ前大統領の収監に抗議する暴動の死者が276人に上ると明らかにしました。ズマ氏の地元クワズールー・ナタール州で234人、同国最大都市ヨハネスブルクのあるハウテン州で42人でした。

FLASH

わたしのいないテーブルで

－148－

丸山 正樹
挿絵 高杉 千明

第十章　公判（5）

「そして当夜も、あなたが味見をしたわけですね」
「はい」
「その後、どうしましたか」
「少し味が薄かったので、『ちょっと味薄いわね。しょうゆ足すわよ』と言って……」
いつか片貝や新藤と一緒に智子のアパートを訪れ、聞いた事と同じ内容の証言が語られた。あの時よりはだいぶ整理され、言いよどむ場面もさほどなかった。
「刺された後あなたは被告人に何と言いましたか？」
「何をするの。何でこんなことをするの。と言ったと思います」
「被告人は何と答えましたか？」
「何も。何か叫んではいましたが、興奮して言葉になっていないようで、何を言っているか分かりませんでした」
「それで、あなたはどうしましたか？」
「とにかく痛いし、服の上から血がにじんでいるのが分かったので、娘に何か手当てするものを、タオルとか包帯とか絆創膏とか、何でもいいから持ってきてといいました」
「それに対して被告人はどうしましたか？」
「いくら言っても相変わらず泣き叫んでいるだけなので、しょうがなく自分の携帯で救急車を呼びました」
「その後、医師から応急手当てについて、何か言われましたか？」
「はい。もう少し応急手当てを早くしていれば怪我の程度ももう少し軽く、加療にもここまで時間はかからなかったはずだ、と言われました」
「最後に、娘さんに何か言いたいことはありますか」
検察官は、それまで「被告人」と呼んでいたのをその時だけ言い換えた。
「はい」智子は、裁判官たちに向かって言った。
「私に何か不満を持っているなら、ちゃんと言ってほしかった、と思います。刺されたことは大して何も思っていません。興奮して、訳の分からないままに包丁を突き出してしまったのだと思います。ただ、その後一言も謝りもせず、反省した様子もないのが親として心配です。自分のしたことにはきちんと向き合い、反省してもらいたいと思います。親の気持ちも……子供の頃からいろいろ口うるさく言ってきたと思いますが、子供のことを心配する親の気持ちからだということも、分かってもらいたかったです」